

第2回新居浜市長期総合計画策定市民会議『行財政運営部会』記録

1. 日 時 平成21年11月25日(水)

午後1時30分～午後5時30分

2. 場 所 市民文化センター別館 4階大会議室

3. 出席者(敬称略)

委員 ○部会長 星加 勝一 ○副部会長 近藤 智佳
○伊藤バーバラ ○伊藤 直人 ○土井美智子
○尾藤 一彦 ○村上 榮 ○矢野 玲子
○米谷 和之
(欠席) ○吉田真由美

事務局 ○専門部会長(市民部長) 前垣 芳郎
○専門部会副部会長(総務部長) 堀田 高正
○専門部副部会長(議会事務局長) 藤田 恭一
○専門部副部会長(監査委員事務局長) 石川 純男
○専門部副部会長(選挙管理委員会事務局長) 岡 正士
○専門部班長(企画部総括次長) 田中 洋次
○推進員(税務長) 伊東 明満、(市民部総括次長) 伊藤 忠親、
(財政課長) 寺田 正則、(情報政策課主幹) 糸野 誠二、
(総務課長) 久枝 守、(人事課長) 藤田 佳之、
(契約課長) 日野 順蔵、(契約課係長) 堀 尚子、
(管財課長) 原 正英、(市民税課長) 岩崎 幸夫、
(資産税課長) 古川世喜太、(議事課長) 鴻上 浩宣、
(市民部次長) 野口 憲一、(市民活動推進課参事) 佐野 家達、
(市民活動推進課係長) 山崎 千織、(広報相談課長) 白石 克則、
(男女共同参画課長) 曾我部照正、(上部支所長) 武田 真人、
(川東支所長) 志賀富士夫
○まちづくり担当(総合政策課主任) 吉岡奈津子

4. 傍聴者 なし

5. 議 事 現状・課題・第4次長期総合計画の取組みについて(意見交換)

8. 概 要

午後1時30分開会

○星加部会長 ただいまから第2回市民会議「行財政運営専門部会」を開会します。

この会議は、全部公開でございますので、ご了解ください。

それでは、前回(11月6日)の第1回会議で欠席されておりました委員さんの自己紹介をお願いします。

まず、伊藤委員さんからお願いします。(伊藤委員 自己紹介)

続いて、矢野委員さん。(矢野委員 自己紹介)

最後に、尾藤委員さん。(尾藤委員 自己紹介)

○星加部会長 ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

それでは、時間の関係もありますので、早速議題に入ります。

今日の会議の進め方について申し上げます。お手元に配布してありますとおり、「時間表」に従って、あらかじめ委員の皆様へ郵送された「施策体系検討ワークシート」に基づいて意見交換をいただき、第5次計画に反映するようになりたいわけでございます。なるべく本日のうちに、平成13年度から実施してきました第4次長期総合計画の総括をしたいと考えています。

国際交流からその他まで9つのテーマがあるが、1テーマずつ事務局から、主な事項について概要を説明いただき、その後、委員からご質疑やご意見、今後に向けたご要望をいただくという議事運営をしたいと考えております。

1時間を目途に休憩をはさみます。

・・・・・・テーマ1 国際交流・・・・・・

○星加部会長 それでは、まず「国際交流」について、事務局から説明をお願いします。

○前垣部長 施策体系検討ワークシート「国際交流」7項目説明

○星加部会長 ただいまの説明について、質疑やご意見、ご要望をお願いします。

○伊藤バーバラ委員 市役所内のサインがいろんな言語でできればいい。外国人の悩みごと相談窓口はどこでしょうか。例えば、アパートを借りたいスペイン語をしゃべる人がいたが、差別にあった。また、中国人は信頼できないから店に入るのを断られた。日本には外国人差別に対する法律がない。どこに相談したらいいのか、行政窓口がない。

○土井委員 3番、6番について、地図やガイドブックを3カ国語でつくるが、それ以外の言語をしゃべる外国人もいる。どんな基準で3カ国語にしたのか。基準を明確にしてほしい。

○伊藤バーバラ委員 英語のガイドブックは外国人には無料であるが、日本人が英語を学ぶために500円で買っている。だから、ガイドブックが不足する。

○土井委員 5番の日本語教師が少ないと書かれているが、意味はわかって書いているのか。

○山崎係長 専門性が大変高いと理解している。だからすぐに養成できない。

○伊藤バーバラ委員 今の新居浜では、日本語教師が小中学校に朝から晩まで飛び回っています。日本語を理解しない児童のためにね。

外国人への行政情報について、市政だよりも読めないひとがいるし、読めて

も市政だよりを入手するためには自治会に入らないといけないが、自治会入会の仕方がわからない。日本人の自治会員もわからないから声をかけてくれない。朝の7時からの放送も問題です。情報入手のためには、どこかまとまっているところに情報があれば助かるが。

○伊藤直人委員 市政だよりはインターネットから見れるので、パソコンを接続する場所があればいい。

○伊藤バーバラ委員 新居浜に来る中国人はパソコンをもちっていますか？

○土井委員 3年間でお金を貯めてパソコンを購入しているから、1年目からは持っていない。

○前垣部長 参考までに市立図書館は夜7時まで開館しているが、インターネットが使える。

・・・・・テーマ2 高度情報化・・・・・

○星加部会長 次に、「高度情報化」について、事務局から説明をお願いします。

○岡選管事務局長（情報政策課長） 施策体系検討ワークシート「高度情報化」10項目説明

○星加部会長 ただいまの説明について、質疑やご意見、ご要望をお願いします。

○伊藤直人委員 どのようなインフラがあったらいいかという情報をいただきたい。情報化推進委員会へも要望をいただきたい。

○米谷委員 何のために情報化を推進するのか。例えば、市民のためのインフラ整備ということもあるし、庁内では予算編成に今まで100時間かかっていたのが50時間で済むということとか、目的をはっきりさせてほしい。そういう項目が基本計画になると思う。

○尾藤委員 公的認証制度について、Etaxとかでカードの普及を図るとあるが、なぜ普及しなければいけないのか。どんな有効利用があるのか。行政が本気で普及させるのか、あるいは価値を見出しているのか。どこへ行っても運転免許証と言われて、カードが公的認証になっていない問題点がある。カードは何のためにあるのか、わからない。

○星加部会長 ワンストップサービスの現況はどうなっているか。

○野口次長 長年の課題だが、やはりシステム化が必要である。

○近藤副部長 災害情報ではハートネットワークと行政が協議してリアルタイムの災害情報がほしい。

○伊藤直人委員 その仕組みはできている。市役所との協議になる。

・・・・・テーマ2 広報・広聴・・・・・

○星加部会長 次に、「広報・広聴」について、事務局から説明をお願いします。

○前垣部長 施策体系検討ワークシート「広報・広聴」10項目説明

○星加部会長 ただいまの説明について、質疑やご意見、ご要望をお願いします。

○米谷委員 市民アンケートによると、市の情報は市政だより90%、ケーブルテレビ28%、ホームページ7.5%であり、ホームページが低く残念。ホームページをもっと見てもらう工夫が必要である。ホームページは中国語、英語に自動で変換することができるので、外国人にも行政情報を提供するのに大きなツールである。また、市外への情報発信にもホームページが一番早いから、力を入れてもらいたい。

○星加部会長 市のホームページは面白みがない。

○白石課長 市では各課所でホームページの情報発信をしているところです。

○星加部会長 まちづくり校区集会について、行政と話すとき感情的になりやすいので、運営には気をつけている。参加する人の固定化、参加者が少ない。私も参加が多いと地区の熱意が伝わると啓発しているが、悩みがある。

○近藤副部長 私は3歳と1歳の子どもの毎日みている。子どものことで手がいっぱい、集会に行くと人様に迷惑がかかると思ってなかなか行けない。メルマガ、インターネットで読むこともままならない。ホームページは知りたい情報へアクセスするまで時間がかかる。もう少し若い人に興味を持ってもらうように工夫してほしい。

○白石課長 ホームページのトップページにクイズや新居浜の天気予報など出しているが。

○土井委員 ホームページは他市のと比較して「字が多い。写真が少ない」感じがする。また、他市のホームページは外に向けて明るく、写真も付けて惹きつけるような発信しているが、新居浜のは内に向けた暗いもののような感じを受ける。

○伊藤バーバラ委員 JTBのような旅行会社の人に来て、新居浜地区のPRを中国、韓国、香港に向けてしようとしたが、なかなか難しい。新居浜はこんなに自然が多い所だし歴史もあるし水もきれい。環境的に素晴らしい。海外からお客さんが来てもおかしくないが、ホームページを見て新居浜に行ってみたくと思う人は少ない。

○村上委員 本市は住友発祥の地ということで教育を受けたが、何をどうしたらいいかということが見つからない。そこで私はマイントピアを案内したが、「新居浜にはこんな素晴らしいところがある。もっと宣伝したらどうか」と。ホームページでもやってもらいたい。

○星加部会長 東洋のマチュピチュは県外で知られている。

○尾藤委員 あれはリーガが提案して当たっている。南高校の皆さんが携帯や写真をサイトをつくっている。新居浜市も一緒につくってみてはどうかなど。

○近藤副部長 公募して市民とホームページ（新居浜物語）をつくってみてはどうか。

午後2時35分休憩

午後2時45分再開

.....**テーマ4 男女共同参画社会の実現**.....

○星加部会長 次に、「男女共同参画社会の実現」について、事務局から説明をお願いします。

○前垣部長 施策体系検討ワークシート「男女共同参画社会の実現」6項目説明

○星加部会長 ただいまの説明について、質疑やご意見、ご要望をお願いします。

○土井委員 4番のDVについて、日本人と外国人が結婚してDVが多くなっているの、チラシなどでの英語版とか、中国版をつくってほしい。

○尾藤委員 男女で分けているが、むしろ若い人は生活上、共働きが当たり前の現状がある。「夫は職業活動、妻は家事育児」というような指標でパーセンテージの割合を出すのはいいのかどうかと思う。むしろ、現状はどうかというような話し合いをしていかないといけない。参画の仕方とか年齢とか、裁判員制度もそうですが、そういう部分を考えないといけない。男女だけ分けておけばいいということではないと思う。

○米谷委員 参画率50%が目標だが、この目標値は意味があるのか。なぜ50%に満たないのか原因を把握してほしい。

○曾我部課長 各種団体から委員が選出される場合が多いが、その団体に女性の役員が少ないことが原因と考えている。

○近藤副部長 愛媛県の審議会では女性の比率がゼロという審議会はない。女性が審議会委員にいらなくてもいいという意識があるのか。

○土井委員 私も委員になった最初のうちは、女性が意見を言いにくい雰囲気があった。女性が審議会にいるということが問題ではなく、女性が意見を言える審議会の雰囲気があることが大切である。

○村上委員 単位自治会では執行部は男性が多いが、地区長（班長）は女性が多い。夜7時半から月1回の会を開くから男性の出席が少ない。

○星加部会長 自治会は、地域での役割は女性の比重が高い。女性の活躍しやすい雰囲気づくりが大切であると認識した。

○伊藤直人委員 皆さん違った環境で育ったので、男女共同という同じ意識にしていこうということだろうと思う。能力があつたら男女を問わずやっている。一人の人間として考えている。こういう取り組みをして啓発することは重要だ

と思う。

・・・・・テーマ5 生涯学習まちづくり・・・・・・

○星加部会長 「生涯学習まちづくり」について、事務局から説明をお願いします。

○前垣部長 施策体系検討ワークシート「生涯学習まちづくり」15項目説明

○星加部会長 ただいまの説明について、質疑やご意見、ご要望をお願いします。

○尾藤委員 。最近「協働」という言葉が多用されてるという表現があるが、私は聞いたことがないので、協働とは何かお聞きしたい。行政が金を出して市民団体なり、法人格のあるところや企業と一緒に事業をするという仕組みですか、それともイメージですか。

○伊藤総括次長 仕組みをつくって一緒にやることである。

○米谷委員 私から補足すると、協働は決まった定義はないと思う。各自治体が日本中で「協働のまちづくり」を進めている。本市では2にあるように「自立した組織が連携しながら新しい公共の価値を創出すること」としている。ノポックが解釈しているのは、あらゆる公共サービスは地方自治体が独占的に住民に提供する形だったが、20年、30年前と比べるとわかるように、今新居浜に住んでいる人たちが物凄く多様化している。例えば、外国人も増え、また、今治・西条に勤務しているし、松山から通勤している人もたくさんいる。生活スタイルも昔は朝起きて夜寝るということが今はそうでなくなった。したがって、市役所への要求も多様化する。自治体が独占的にサービスを提供するのがなかなか難しくなっている。どうするのかというと、公共サービスを市役所だけが担うのではなく、市民、民間企業が一緒になって市民へのサービス提供を図っていかないといけない社会になっている。施策別評価にもあるとおり、「理念を実践に移し、市民、行政協働で市民サービスの向上を図るための新たな政策」云々と書いてあるが、市民と行政と担うべきところの公共サービスを担っていくという考え方だと思う。このやり方として、共催もあるし協働事業の提案を受け、それについて役所は施策として市民団体と実行するやり方もあると思う。

○星加部会長 「協働」の意味が難しい。間違っていたらごめんなさいですが、マイバッグ運動も協働ですか。

○米谷委員 そうです。市民団体が問題提起し、企業が実施し、行政が支援するという意味で。

○伊藤バーバラ委員 生涯学習大学の講師を16年しているが、考え方がどんどん変わって、新しい内容を入れなければならないという理由で、まだ市民から継続要望があるにもかかわらず3回で終わるというルールになっている。同

じ講座をもう1回受けたいと言ってもできない。次はサークルとしてとなる。例えば、英会話講座があるが、時事問題講座と併せた英語時事講座に統合された結果、どんどん受講者が減った。ルールではなく、参加者のニーズを考えてほしい。

・・・・・テーマ6 ボランティア・・・・・

○星加部会長 「ボランティア」について、事務局から説明をお願いします。

○前垣部長 施策体系検討ワークシート「ボランティア」11項目説明

○星加部会長 ただいまの説明について、質疑やご意見、ご要望をお願いします。4番ですが、基礎データの数値は正しいのか。

○米谷委員 登録団体数は18年度108、19年度142、20年度169です。21年現在では190くらいです。

○近藤副部長 ボランティア団体への行政のケアは十分なされているのか？

○伊藤バーバラ委員 SGGの場合、あまり関係ないと言えば関係ない。グローバルパーティ開催には担当課も協力的です。普段は行政とは別ですから。

○土井委員 ワークシート1番の課題にある「善意に基づきできるときにできる範囲で」という表現には少し抵抗を感じるが、うちの団体は発足時は行政に協力してもらえなかったというか、自分たちでやれと言われたが、現在はお金は出すが口は出さないということで、いいアドバイスをもらっている。いい関係である。行政はできることとできないことがあるし、私たちもできることとできないことがある。お互いが補っていくのが協働である。そしてボランティア支援につながると思う。

○尾藤委員 企業のボランティアということだが、災害時新潟地震の時、関連会社に行った。組合で行くとかあるが、新居浜では聞いたことはない。NPOに個人的に入っている人は個人的にやっている。寄付をしている企業もある。

○星加部会長 いいことだから会社名を出すのが、トヨタネッツさんは街路清掃している。ああいうことが広がればいい。

○伊藤バーバラ委員 ドッグパークを市がつくったが、業者を雇って木の枝を切っているが、陰がなくなり暑くなった。ボランティアで犬のふんやごみ拾いをしているが、前もって切るなら切るで相談してほしかった。

○米谷委員 新居浜の協働オフィスはスタートは早くなかったが、現在は他市の市議会議員の視察や他市町からの見学にも来てもらっている。市の担当者も企画運営面でも協力してもらっている。私たちも責任を持ってやっていきたい。市民活動が継続できるようやっていきたい。専門集団としての特性を伸ばしてもらおうようお願いしたい。行政のサポートをお願いする。市の各課所とのイコールパートナーとして、今までできなかった公共サービスを市民と行政ができるようにまさしく協働の一つのパターンとしてやっていきたい。

○星加部会長 団塊の世代や高齢者も社会に役に立ちたいと思っていると思うので、何らかのグループに加入しやすいような雰囲気づくりを行政にお願いします。

○土井委員 どの専門部会かわからないが、日本で働いている男性が外国にいる妻を日本に呼びたいし、才能も持っているが、日本に呼んでも家に閉じこもるのではないかと心配している。才能を生かせるような活用できる施策をつくってもらいたい。

○米谷委員 配布資料の「施策別評価12ページ」の課題項目に「市民の取り組みや活動の成果を、政策に反映させる仕組みづくり」とか、ワークシートの「生涯学習まちづくり」の6番、現況欄に「地域全体の豊かさや幸せの追求が行政経営の目標とされ、行政に求められ果たすべき役割も変化している」とあり、課題欄に「市民活力をまちづくりに活かすため、協働をマネジメントできる力が必要。」とある。これから専門委員会の皆さんで長期総合計画の素案をつくっていくわけですから、こういう課題を計画に生かしていくようお願いする。

○前垣市民部長 次回のこの専門部会で課題に対する解決方法を討議する機会がある。よろしくお願ひしたい。

午後3時55分休憩

午後4時06分再開

・・・・・・テーマ7 地域コミュニティ・・・・・・

○星加部会長 次に、「地域コミュニティ」について、事務局から説明をお願いします。

○前垣部長 施策体系検討ワークシート「地域コミュニティ」5項目説明

○星加部会長 ただいまの説明について、質疑やご意見、ご要望をお願いします。

じゃあ、私から。連合自治会の副会長をしているので言うと、自治会の加入率が下がっているのので、連合自治会でアンケートをとった。船木校区は、加入するメリットがない。昔は冠婚葬祭で自治会にいるとよかったが、今はそれがない。2番目は、役員になったら忙しい。3番目は自治会費が高い。特に太鼓台を所有する自治会は太鼓台運行の屋割りがあり会費が高いの順です。これらをどう解決するかが課題である。

○伊藤直人委員 若い人が入会しない。自主防災組織が自治会単位であるが、災害時に助け合うことを継発しても加入率は上がらないのか。

○星加部会長 なかなか難しい。ちらしにも書いているが。

○村上委員 行政は要介護リストを作成して一部分配布したが、個人情報の問題等でうまくいかない。災害のための防災備品を購入する予算はあるが、購入

後のメンテ費用がないため、踏み込めない。

市政だよりも自治会員外にも配布してほしいと行政は言う。

○伊藤バーバラ委員 今年、うちの自治会では役員名簿が来たが、名前だけで連絡先の電話番号が記入されていない。個人情報支障となり、役員に電話もできない。記入するよう行政指導はできないか。近所との関係が薄くなってきている。

○伊藤総括次長 自治会のことだから、行政からはできない。

○矢野委員 不便だ。

○堀田総務部長 法律を破ることはできない……。

○伊藤直人委員 法律を破ることはならない。責任逃れであろう。電話帳には本人が意思表示しないままなら住所も書いてある。この法律ができる前のことは個人情報の対象はない。詳しく調べてみるといい。法律違反ではないと思う。

○近藤副部長 自治会に入らない理由の中に、加入者たちも「全然いいことない」という気持ちがある。自治会を立ち上げる時に行政に相談して、指導してもらって、行政が自治会を成長していくことを助けるようにされたい。個人情報の問題も、自治会内の信頼関係を高めるようにすべきである。

○星加部会長 行政として金を出してもらっただけでなしに、精神的な面での支援がほしいということですね。

○村上委員 若者は入会しないし、高齢者が二、三年に一回役員が回ってくる現状がある。

……テーマ8 行財政運営……

○星加部会長 次に、「行財政運営」について、事務局から説明をお願いします。

○田中総括次長 施策体系検討ワークシート「行財政運営」47項目中、1番から16番まで説明

○堀田総務部長 施策体系検討ワークシート「行財政運営」47項目中、17番から47番まで説明

○星加部会長 ただいまの説明について、質疑やご意見、ご要望をお願いします。

じゃあ、私から。30番の職員提案制度の基礎データの数値は少ないのではないか。

○藤田人事課長 この提案制度のほかに1課1改善運動制度があり、この数値になっている。

○伊藤直人委員 13番で広告収入は、もっと広げてもらいたい。

○村上委員 31番の定員管理に関連して、住友を含む企業は事業活動で海外に出ているので、市内の従業員が減少している。市は電算化導入により合理化

しても職員数が減っていない。生ぬるい気がする。

○藤田人事課長 市民サービスを落とさないよう、また国の権限委譲もあり、必要なところは配置しており、減員すべきところは減らしている。事業終了した時点ではその分については減員している。

○村上委員 住友の海外事業により、市税収入や人口が減る場合を考えるべきである。

○近藤副部長 上司が部下を評価する制度はあるが、部下が上司を評価する制度も必要である。

○星加部会長 三重県庁の事例を参考にするといい。

○土井委員 選挙で期日前投票の場所は何で決めているのか。高齢者の立場から考えるともっと場所を広げてほしい。

○岡選挙管理委員会事務局長 1カ所以上設けなければならないことになっており、市の選挙管理委員会で2カ所と決めている。

○米谷委員 松山市はスーパーマーケットに投票所やワンストップサービスで市役所の出先を設置している。費用対効果の関係から検討してほしい。これも企業と行政との新しい関係になると思う。

○星加部会長 35番の愛媛県地方税滞納整理機構への移管はどのような時点で移管するのか。

○伊東税務長 基準に基づき実施する。

・・・・・テーマ9 その他・・・・

○星加部会長 次に、「その他」について、事務局から説明をお願いします。

○前垣部長 施策体系検討ワークシート「地域コミュニティ」1項目説明

○星加部会長 最後に、全体を通じまして何かございましたら、お願いします。

(質疑・意見・要望なし)

○星加部会長 長時間にわたり、お疲れさまでした。

次回の専門部会の日程等について、事務局からお願いします。

○事務局 次回は12月24日(木)午後1時30分から行います。

開催場所等については、招集通知のご案内を郵送します。

○それでは、閉会します。

午後5時30分閉会